

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

| | | | | |
|----------|-----------|---|----|------------|
| 仕事の内容 | 民生委員推薦会事業 | | | |
| 担当部署・課長名 | 福祉部福祉推進 | 課 | 庶務 | 係 課長名 嶋田 淳 |

| | | | |
|-------------------------------|----------------|-------|---|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | 施策番号 | 2 - 6 | - |
| 【施策名】 地域福祉の推進 | 総合計画書 (ページ) | 65 | |

| | | | | |
|-----|---------|-----------|-------------|---------------|
| 予算名 | 款 3 民生費 | 項 1 社会福祉費 | 目 1 社会福祉総務費 | 事業 11 民生委員推薦会 |
|-----|---------|-----------|-------------|---------------|

| | | |
|--------------|---|--|
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 民生委員推薦会 | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 民生委員推薦会委員の出席率 定数14名 |
| | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 民生委員推薦会を開き、民生委員・児童委員候補者を選出し、東京都へ推薦する。 | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 民生(児童)委員実人数/民生(児童)委員定数 平成28年12月1日一斉改選 60/60(定数) |
| | ③ そのために何をしましたか。 民生委員は、民生委員法により、市の民生委員推薦会が東京都に推薦し、都の地方社会福祉審議会の意見を聴き、都知事の推薦により、厚生労働大臣が委嘱することとなっている。 地域で活動をしている市民から、適正な候補者を推薦するために、民生委員推薦会を開催し、都へ候補者を推薦した。 | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 民生委員推薦会開催回数 2回 |

| | | 単位 | 平成28年度実績 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度目標 | 平成32年度目標 |
|------------|------|-----------|------------------|----------|----------|----------|----------|
| 2 指標の推移 | 対象指標 | ①の数値 | % | 77 | 0 | 82 | |
| | 成果指標 | ②の数値 | % | 100 | 100 | 98 | |
| | 目 標 | ②の目標値 | | | | | |
| | | 目標値設定の考え方 | 定数どおり、民生委員を配置する。 | | | | |
| 活動指標 | ③の数値 | 回 | 4 | 0 | 2 | | |

| | | | | | | | |
|--------------|---------|-------------|-----------|---------|---------|---------|---|
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 324,000 | 0 | 171,000 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 0 | 0 | 6,600 | |
| | | 特定財源 | 円 | 324,000 | 0 | 164,400 | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | | | | |
| 職員人件費(再任用以外) | | 円 | 826,700 | 825,300 | 824,400 | | |
| 職員人件費(再任用) | | 円 | | | | | |
| 事業費+人件費 | | 円 | 1,150,700 | 825,300 | 995,400 | | |

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

| | |
|-----------|---|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和23年に民生委員法及び施行令が制定された。民生委員を選出することを目的としている。 民生委員の任期は3年であり、平成28年12月1日が一斉改選され、定数60名を確保することができた。 なお、平成30年度末で退任等により59名となっている。 |
| | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 社会が変化したことにより、民生委員の役割も変化し、また、地域で昼間活動できる方が減少していることから、民生委員推薦会も、候補者を選出することが難しくなっている。 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|---|----|---|----------|
| 仕 事 の 内 容 | 民生委員推薦会事業 | | | | |
| 担当部署・課長名 | 福祉部福祉推進 | 課 | 庶務 | 係 | 課長名 嶋田 淳 |

| | | | | | |
|---------------------------------|---|--|--|--|--|
| 5 市 民 等 の 意 見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | | | |
| | 実質的な候補者推薦は現任民生委員からの推薦者であり、民生委員推薦会は推薦のための追認機関となっており、民生委員推薦会から候補者推薦はなかった。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|---|------|---|--|--|
| 6 市 民 協 働 | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） | | | | |
| | 取組みは無い | 取組手法 | 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） | | |
| | (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし | | | | |

| | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|--|
| 7 課 題 | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 民生委員のなり手が少なくなる中、次の一斉改選（H31）に向けた、候補者選定の方法について検討していく必要がある。 | | | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 特になし | | | | |
| | (3)(2)を踏まえた今後の課題 (1)に同じ | | | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--|--|----|-------------|
| 8 今 後 の 方 向 性 | (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 候補者の選出方法について、新しい方法を考える必要がある。 | | | | |
| | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 他の自治体での取組みや各種団体からの選出方法等の検討を図る。 | | | | |
| | (3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 | | | | |
| 成果 | 成果を維持する。 | | | 経費 | 仕事の経費は維持する。 |